



HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和6年3月31日発行



▲入学式 校長挨拶



▲全国大会に出場した生徒たち

▼富田校舎2年修学旅行 カヌー体験



▼本校舎2年修学旅行 三線体験



令和6年

3/31

第68号

○「心に響いた言葉たち」	学校長 大橋 芳樹	2ページ
○卒業生に贈る言葉		3ページ
○学窓の思い出		4~5ページ
○進学・就職状況		6~7ページ
○活躍する部活動		8~12ページ
○富田キャンパストピックス		12~13ページ
○本校舎トピックス		14ページ
○白鷗大学だより		15ページ
○PTAだより・生徒会・他		16ページ



心に響いた言葉たち

白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹

日々の生活の中で何気なく出会った言葉に、時として、勇気や元気をもらうことがあります。また、その言葉が、その時ぶち当たっている壁を乗り越えるためのヒントになることがあります。今年も、私の人生の中で出会った素敵な言葉をいくつかプレゼントします。

『誰よりも三倍、四倍、五倍勉強する者。それが天才だ』…梅毒や黄熱病の研究で世界的に有名な野口英世の言葉です。野口英世は1歳の時に囲炉裏に落ちて左手に大火傷を負い、幼い頃は「てんぼう（手が棒）」といじめられたそうです。しかし、それこそ人の何倍も勉強し医者となり、アメリカのロックフェラー医学研究所で梅毒や高熱病の研究をし、受賞こそならなかったものの三度ノーベル生理学・医学賞の候補になっていた



ます。「実験マシーン」、「日本人は睡眠を取らない」などと揶揄されるほど研究に熱中し、最後は黄熱病にかかり亡くなりました。

『私は、人生の岐路に立った時、いつも困難なほうの道を選んできた』…1970年に大阪で行われた万国博覧会のシンボル「太陽の塔」の制作者として有名な岡本太郎の言葉です。万国博覧会が行われた当時は、正に時代の寵児であり、多くのテレビ番組やCMなどにも登場しました。両目を大きく見開き、両手を大きく広げながら『芸術は爆発だ！』や『何だこれは！』と、叫ぶ姿は強烈な印象を伴って記憶に残っています。日本では数少ない世界的に通用する芸術家であり、唯一無二の言葉を数多く手掛けてきた岡本太郎の言葉はシンプルですが、ぶれない力強

さがあります。

『すべてはやるかやらないかあきらめるかあきらめないかやって駄目ならもつとやれ』…映画監督、路上詩人、お笑い芸人などの肩書を持つ、てんつくマンの言葉です。お笑い芸人として月亭方正とコンビ「TEAM10」を組んでいました。その後、映画監督、路上詩人としての活動に加え、2002年に本名の軌保博光から、「てんつくマン」に改名し、「天国を作るニューヒーロー!？」と名乗り、東日本大震災被災地支援活動、カンボジアの子供たちへの支援活動、環境保護活動なども行っ



ています。1998年には、一月連続毎日フルマラソンを完走しました。何事も『やって駄目ならもつとやれ』の精神で、他人が驚くようなことをやってのけてきた

バイタリティーにあふれた人物です。



『生きてるだけで丸儲け』…日本の「お笑いBIG3」の一人で、「お笑い怪獣」と呼ばれる明石家さんまの言葉です。実は、明石家さんまの人生には身近な人の死を強く意識する場面が多くありました。3歳のときに母親が病死し、19歳のときには弟が実家の火事で亡くなるなど、若くして大切な家族を失う経験をしています。さらに、自身も命拾いをした経験があります。1985年8月12日に起こった「日本航空JAL1123便墜落事故」の際には、この1123便に乗って大阪へと帰る予定だったのですが、事前の収録番組が早く終わり1123便をキャンセルし一便繰り上げたことから、事故を免れました。明石家さんまは、この大好きな言葉を短縮して、一人娘に「いまる」という名前をつけています。私たちは今を生きていることに感謝し、生きていくだけで幸せなのだと思えるように日々を過ごしていくことが大切だと改めて感じております。

卒業生に贈る言葉

龍を鍛える



「皆さんは龍を見たことがありますか？私はあります。龍は何を食べて大きくなるのか知っていますか？龍は経験を食べて成長していくのです。私たち一人ひとりの中に『人格』という名の龍が存在します。その龍は年を取り、経験を食べるほど強く大きくなっていきます。人は、経験を糧にして強くなるのができるのです」

これは東日本大震災後の福島県を訪れたブータン国王が子供たちに向けた言葉です。国王は自国でもこの話をよくするそうで、国王自身の座右の銘のようなものなのかもしれません。ちなみにブータンの国旗は龍です。辰年の、そして元旦から能登の地震に見舞われた今年、私はすぐにこの言葉を思い出し、嘸み締めました。

皆さんはこの3年間、コロナ禍や自然災害など一人の力ではどうにもならない困難を経験してきま

教頭 須藤 敏哉

した。これからはさらに多くの困難や苦労を経験するでしょう。どうか逃げずに全ての経験を糧とし、あなたの龍を鍛えてください。時に甘えや苛立ちで暴れそうになる龍をコントロールし、強く大きな龍を育ててください。

自分自身も大切に

文理進学コース長 小林 彰子



ご卒業おめでとうございます。新たな一歩を踏み出す皆さんには、「自分自身も大切に」という言葉を贈ります。これは、私自身が日々意識している言葉でもあります。一見わがままに振る舞うこ

信じるのがチャンスにつながる

教頭 青木 凡枝



卒業おめでとうございます。コロナ禍に入学し、様々な制約の中で、困難を乗り越えながら高校生活を送った経験は、これからの人生の糧となることでしょう。

皆さんの新たな出発とともに、富田校舎も40年の歴史に幕を閉じ、新たなステージへとブラッシュアップしてまいります。それに伴う記念講演で栗山英樹先生から、「信じるのがチャンスにつながる」というお話を伺いました。その言葉通り、栗山先生は選手を信じ、

失敗は成功のもと

総合進学コース長 武藤 幸祝



卒業おめでとうございます。白鷗大学足利高等学校で過ごした3年間では様々なことがあったと思います。コロナ禍での第1学年では、学校行事や部活動の大会が中止や延期となることが多くありました。様々な制限があり、辛く苦しいこともあったかもしれませんが、第2学年以降は、感染症に配慮しながら修学旅行が行えたり、多くの行事や部活動の大会が実施されたりして、以前のように対面で多くの経験ができるようになりました。

そのためには、思いやりの心が必要ですが、その人の身になることは、なかなか難しいものです。そこで、「自分自身を大切に」することから始めてみてください。そして、自らが体感した心地良さを自分以外の人も向けてみてください。「自分自身も大切に」とは、自分と自分以外の人への思いやりの心を持つということです。

「自分自身も大切に」。この言葉が、みなさんのこれからの人生の一助ともなれば幸いです。

卒業にあたり「失敗は成功のもと」という言葉を贈りたいと思います。「失敗は、その原因をつきとめて改善することができれば、むしろ成功に繋がる」という意味です。コロナ禍以降、これまでにない状況の中で、成功するだけでなく、失敗し悔しい思いをした経験もあったと思います。失敗した時に「何がいけなかったのか」を考え、反省点と改善点を整理して対処をし、次に繋げることができれば、必ず成功に近づけるはずです。これからの失敗を恐れず多くのことに挑戦し、その経験から成功をつかんでください。更なる成長と活躍を期待しています。

学窓の思い出



特別進学コース
3年1組
山野内 希和
(足利西中)

宇都宮大学 共同教育学部 学校教育教員養成課程

私は、一度きりの高校生活をこの白鷗大学足利高校で過ごすことができて本当に良かったと思っています。振り返ってみると3年前、これから始まる新生活への大きな希望を胸に入学したことを思い出します。1年次は、朝早くから自習室で勉強に励む友人の姿に刺激を受け、自分も頑張ろうと思うこ



とができました。放課後は同好会に参加し、充実した日々を送っていました。2年次は、なんととっても修学旅行が印象に残っています。友人たちと沖繩の海で写真を撮るなど、良い思い出ができました。

3年次には、仲間と受験勉強に励みながら、高校生活最後の1年を楽しく送ることができました。そして、先生方の手厚い進路指導や多くの方々の支えにより、私は夢への大きな一歩を踏み出すことができました。これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思えます。3年間ありがとうございました。



特別進学コース
3年2組
折田 奈々
(白鷗足利中)

獨協医科大学 医学部 医学科

私にとって本校で過ごした3年間はとても充実したものでした。体育祭、富can祭、修学旅行など行事には非常に恵まれました。中でも印象に残っているのは3年次の体育祭です。それぞれが受験

勉強に追われる中、体育の授業ではひたすらダンスの振りを含め込み、補習の合間には長縄やリレーの練習をしました。クラスの皆が優勝目指して一致団結した瞬間は忘れられません。

行事のみならず、休み時間や登下校時に友人と談笑したり、分からない問題を教えあったり、担任の先生の誕生日をお祝いしたりと、今思えば日々の何気ないできごとが、かけがえのない宝物です。

本校での学びと経験を糧に、社会に貢献できるよう日々努力を惜しまず、成長し続けたいと思えます。お世話になった先生方、3年間ありがとうございました。



進学コース
3年3組
江部 空来
(大平南中)

福島大学

人文社会学群 人間発達文化学類

特別支援生活科学コース

本校で過ごした3年間は、とても充実した楽しい日々でした。クラスで団結して取り組んだ富can祭、体育祭、修学旅行など高校生活の大切な思い出がたくさんできました。

受験は、団体戦です。先生方の丁寧で熱心な授業に加え、朝・放



答辞を読む進3の3
高橋 雪乃さん(富田中)

最後の進学補習も積極的に参加しました。皆、夢を実現するために努力し、クラス一丸となり、受験に挑みました。仲間が目標に向かって努力する姿に勇気をももらい、最後まで勉強に励むことができました。



進学コース
3年5組
谷美 遥香
(赤見中)

自治医科大学 看護学部

入学してからあつという間に3年間の高校生活が終わってしまいました。入学当初は、コロナ禍のため自宅学習になることが多くありました。今まで当たり前だと思っていたことが奪われ、思い描いていた高校生活を送ることができず悔しい気持ちでいっぱいでした。しかし、幸い私たちの学年は修学旅行に行くことができました。私はこのように行事ができることがとても幸せで恵まれたことであると実感しました。

した。

私が所属していた茶道部では、日本の伝統文化や礼儀作法を学びました。文化祭でのおもてなしをお客様に喜んでいただけただけは、心から嬉しく思いました。

富田校舎の新校舎移転と共に私たちも卒業します。本校で培った経験を誇りに日々精進していきます。様々な面から私たちを支えてくださった先生方、切磋琢磨した仲間たちに感謝しています。ありがとうございました。

高校での3年間は苦労や困難が多くありましたが、そのような中でも楽しく充実した学校生活を送ることができたのは、喜びを分かち合えるたくさんの友人、熱心にサポートしてくださった先生方、そして私たちの周りでも応援してくれた保護者の方々のおかげです。この充実した高校生活で学んだたくさんのお話を生かして、何事にも一生懸命取り組んでいきたいです。3年間大変お世話になりました。





総合進学コース
3年1組
日笠 愛美
(壬生中)

立教大学
文学部 日本文学専修

高校生活を振り返ってみると、あつという間でとても充実したものであったと感じています。

私は文武両道を目指して学校生活を送ってきました。部活動もあり、家庭学習の時間を多くは取れないため、授業で分からないところは周りの人に聞き、その日のうちに理解することを心掛けました。それにより、定期テストでは良い順位をキープすることができました。部活動は、ソフトテニス部に所属していました。悩むこともたくさんありましたが、積み重ねを大切にしながら、全国選抜大会第3位入賞など全国の舞台でも表彰されることができました。辛いことも乗り越えることができたのは、



熱心に指導してくださいました先生方、苦楽を共にした仲間の存在があったからだと思います。

本校に入学していなかったら出会うことのなかった先生方や友人たち。皆さんと出会うことができただけから最高の学校生活を送ることができました。3年間本当にありがとうございました。



文理進学コース
3年3組
藤本 七海
(伊勢崎あずま中)

明治学院大学
社会学部 社会福祉学科

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない不安の中、本校に入學しましたが、この3年間で多くの友人に巡り合えてたくさん思い出をつくることができました。

私は女子バスケットボール部に所属し、高い目標に向かって仲間と切磋琢磨しながら日々練習に励んできました。辛いことも多く、何度もうけけることがありますが、チームメイトの支えのおかげで最後までプレーをすることができました。そして、全国出場を果たせず悔しい気持ちがあり、大学でもバスケットボールを続けたいと思ったことが進路決定に繋がりました。

振り返ると高校生活は部活動尽

くしの3年間であり、真剣にバスケットボールに向き合えたと思います。それも、熱意ある先生のご指導があったからです。

ここで出会った友人、仲間、先生方への感謝を忘れず勉強にも力を入れて、次のステージでも頑張りたいと思います。



答辞を読む
文3の2 小嶋 里菜さん(協和中)



総合進学コース
3年4組
毛塚 煌
(栃木東陽中)

白鷗大学
教育学部 発達科学科
スポーツ健康専攻

本校で過ごした3年間は、あつという間でした。私は、入学時から文武両道を意識して高校生活を送りました。

勉強面では、テスト前に限らず日々の授業に集中し、計画を立てて勉強していました。わからないところはわからないままにせず、友人や先生に聞くようにしました。



文理進学コース
3年2組
石関 愛莉
(毛野中)

栃木県警察本部

本校で過ごした3年間は、新型コロナウイルス感染症に翻弄されながらも最高のものとなりました。1年次は高校生活に慣れてきた矢先に、コロナ感染症拡大の影響で一か月、ズーム授業となっていました。さらに一度きりの白鷗祭は中止となり、クラスで創り上げていたものを披露する機会がその結果、3年間、安定した成績を維持することができました。

部活動では男子バレーボール部に所属し、3年次はキャプテンを務めました。3年間なかなか勝つことができず、悔しい思いをしましたが、チームメイトと協力することを通じて最後まで諦めない心を持つことができ、人として大きく成長できたと思います。

この3年間、先生やクラスメイト、チームメイトに恵まれて素晴らしい高校生活を送ることができました。これからも周囲の人への感謝の気持ちを忘れず、高校生活での経験を生かし、大学でも頑張りたいと思います。3年間、本当にありがとうございました。

奪われてしまいました。

しかし、2年次はデジフェスをはじめ、体育祭、修学旅行などの行事を行うことができました。それは新型コロナウイルスの感染状況だけが理由ではなく、先生方が行事を行うために様々な準備や工夫をしてくださったからだと思います。ありがとうございました。

先生方や友人、家族のおかげで充実した3年間の高校生活を終えることができました。これからは栃木県の警察官として冷静かつ積極的に任務を遂行していきたいです。自分を成長させてくれた環境や周囲の人への感謝を忘れず、今後も邁進していきます。3年間ありがとうございました。



令和6年度入試
大学・短期大学合格状況

令和6年3月31日現在

筑波大学、東京藝術大学、東京都立大学
国公立大、大学校に**44名**合格
早稲田、慶應義塾、東京理科、GMARCH **30名**
をはじめ、難関私大にも多数合格

山形大学	1名	山形大学 (理)	1名
福島大学	1名	福島大学 (人文社会)	1名
筑波大学	1名	筑波大学 (総合援理系)	1名
茨城大学	2名	茨城大学 (理)	1名
宇都宮大学	2名	茨城大学 (工)	1名
群馬大学	4名	宇都宮大学 (共同教育)	2名
埼玉大学	4名	宇都宮大学 (地域学)	1名
東京海洋大学	3名	宇都宮大学 (アタカサイ)	1名
東京藝術大学	1名	宇都宮大学 (エス経営)	1名
奈良女子大学	1名	群馬大学 (情報)	1名
釧路公立大学	3名	群馬大学 (理工)	3名
秋田県立大学	1名	群馬大学 (教養)	1名
群馬県立女子大学	4名	埼玉大学 (工)	2名
高崎経済大学	3名	埼玉大学 (海洋生命科)	1名
前橋工科大学	2名	東京海洋大学 (音楽)	1名
埼玉県立大学	1名	東京芸術大学 (文)	1名
東京都立大学	1名	奈良女子大学 (文)	1名
神奈川県立保健福祉大学	1名	釧路公立大学 (経済)	3名
都留文科大学	3名	秋田県立大学 (科学技術)	1名
長野県看護大学	1名	群馬県立女子大学 (文)	4名
長野県立大学	1名	高崎経済大学 (経済)	3名
公立鳥取環境大学	1名	前橋工科大学 (工)	2名
防衛大学校	2名	埼玉県立大学 (保健医療福祉)	1名
職業能力開発総合大学校	1名	東京都立大学 (健康福祉)	1名
〔私立大学〕 284名		神奈川県立保健福祉大学 (保健福祉)	1名
早稲田大学	2名	都留文科大学 (文)	2名
慶應義塾大学	1名	都留文科大学 (教養)	1名
東京理科大学	1名	長野県看護大学 (看護)	1名
明治大学	8名	長野県立大学 (マネジメント)	1名
青山学院大学	6名	公立鳥取環境大学 (経営)	1名
立教大学	5名		
中央大学	2名		
法政大学	4名		
学習院大学	1名		
獨協医科大学・医	1名		
埼玉医科大学・医	1名		
白鷗大学	252名		
他	371名		

防衛大学校 (人文)	1名
防衛大学校 (理工)	1名
職業能力開発総合大学校 (総合)	1名

〔大学校合格一覧〕

山形大学 (理)	1名
福島大学 (人文社会)	1名
筑波大学 (総合援理系)	1名
茨城大学 (理)	1名
茨城大学 (工)	1名
宇都宮大学 (共同教育)	2名
宇都宮大学 (地域学)	1名
宇都宮大学 (アタカサイ)	1名
宇都宮大学 (エス経営)	1名
群馬大学 (情報)	1名
群馬大学 (理工)	3名
群馬大学 (教養)	1名
埼玉大学 (工)	2名
埼玉大学 (海洋生命科)	1名
東京海洋大学 (音楽)	1名
東京芸術大学 (文)	1名
奈良女子大学 (文)	1名
釧路公立大学 (経済)	3名
秋田県立大学 (科学技術)	1名
群馬県立女子大学 (文)	4名
高崎経済大学 (経済)	3名
前橋工科大学 (工)	2名
埼玉県立大学 (保健医療福祉)	1名
東京都立大学 (健康福祉)	1名
神奈川県立保健福祉大学 (保健福祉)	1名
都留文科大学 (文)	2名
都留文科大学 (教養)	1名
長野県看護大学 (看護)	1名
長野県立大学 (マネジメント)	1名
公立鳥取環境大学 (経営)	1名

〔国公立大学合格一覧〕

東北工業大学	1名
東日本国際大学	1名
つくば国際大学	2名
流通経済大学	1名
足利大学	11名
宇都宮共和大学	1名
国際医療福祉大学	6名
作新学院大学	3名

早稲田大学 (政治経済)	1名
早稲田大学 (スポーツ)	1名
慶應義塾大学 (理工)	1名
東京理科大学 (創理工)	1名
明治大学 (政治経済)	1名
明治大学 (文)	1名
明治大学 (法)	3名
明治大学 (理工)	3名
明治大学 (法)	3名
明治大学 (理工)	3名
青山学院大学 (理工)	4名
立教大学 (文)	2名
立教大学 (経済)	1名
立教大学 (観光)	1名
立教大学 (福祉)	1名
立教大学 (文)	1名
中央大学 (法)	1名
中央大学 (文)	1名
中央大学 (法)	1名
法政大学 (社会)	1名
法政大学 (情報)	2名
法政大学 (文)	1名
学習院大学 (医)	1名
獨協医科大学 (医)	1名
埼玉医科大学 (法)	63名
白鷗大学 (経営)	71名
白鷗大学 (教育)	118名

〔私立大学合格一覧〕

自治医科大学	3名
獨協医科大学	2名
文星芸術大学	1名
育英大学	1名
関東学園大学	3名
共愛学園前橋国際大学	2名
桐生大学	4名
群馬医療福祉大学	4名
群馬パーパス大学	9名
上武大学	3名
高崎健康福祉大学	15名
高崎商科大学	1名
浦和大学	2名
共栄大学	1名
埼玉医科大学	1名
埼玉工業大学	2名
埼玉工業大学	14名
城西工業大学	6名
尚美学園大学	1名
女子栄養大学	1名
東京国際大学	8名
獨協大学	20名
日本医療科学大学	2名
日本工業大学	11名
日本保健医療大学	2名
日本薬科大学	3名
人間総合科学大学	2名
文教大学	27名
平成国際大学	5名
敬愛大学	1名
淑徳大学	1名
清和大学	1名
千葉工業大学	1名
亜細亜大学	2名
跡見学園女子大学	2名

日本大学	東洋大学	東京薬科大学	東京未来大学	東京福祉大学	東京農業大学	東京電機大学	東京女子体育大学	東京女子大学	東京工科大学	東京経済大学	東海大学	帝京平成大学	帝京科学大学	帝京大学	津田塾大学	大東文化大学	大正大学	創価大学	専修大学	聖路加国際大学	成蹊大学	白百合女子大学	昭和女子大学	昭和大学	順天堂大学	芝浦工業大学	実践女子大学	駒澤大学	国士舘大学	國學院大学	工学院大学	共立女子大学	北里大学	大妻女子大学	桜美林大学
6名	28名	1名	1名	1名	1名	14名	1名	1名	9名	3名	10名	4名	3名	13名	1名	7名	1名	3名	5名	1名	3名	1名	1名	2名	2名	7名	2名	6名	3名	1名	1名	2名	4名	1名	1名

〔専門学校合格者数 64名〕

栃木県立衛生福祉大学校	館林高等看護学院	獨協医科大学附属看護専門学校	太田医療技術専門学校	太田高等看護学院	東群馬看護専門学校	足利デザイン・ビューティ専門学校
1名	2名	1名	6名	3名	2名	5名

他専門学校等44名合格

〔短期大学合格者数 10名〕

佐野日本大学短期大学	國學院大學栃木短期大学	育英短期大学	桐生大学短期大学部	国際学院埼玉短期大学	創価女子短期大学	戸板女子短期大学
4名	1名	1名	1名	1名	1名	1名

日本獣医生命科学大学	日本女子大学	日本赤十字看護大学	日本体育大学	武蔵野大学	明治学院大学	目白大学	ヤマザキ動物看護大学	立正大学	神奈川大学	神奈川工科大学	フェリス学院大学	新潟医療福祉大学	金沢医科大学	岐阜女子大学	関西外国語大学
1名	1名	1名	1名	7名	4名	1名	2名	1名	2名	2名	1名	3名	1名	1名	1名



令和5年度の
就職先

栃木県内

王子コンテナ(株)栃木工場
(株)おくざわ
関東自動車(株)
北関東総合警備保障(株)
コマツ物流(株)東日本物流部
コロラド(株)小山工場
栃木トヨタ自動車(株)
(株)大協精工
(株)中島架設
日立ジョンソンコントロールズ空調(株)栃木事業所

栃木県外

王子製鉄(株)群馬工場
(株)ギンビス古河工場
(株)ケースホールディングス
(株)SUBARU群馬製作所
東武ステーションサービス(株)
中村美装工業
日本ロジテム(株)
ブルドックソース(株)
(株)ブロッサム
メディアランド・ウイング(株)

公務員

航空自衛隊
自衛隊体育学校
栃木県警察本部

就職状況
〜若い人材を求め〜

全国での高校生への有効求人倍率が毎年伸びている中、本校への求人数も、昨年に引き続き800社以上の企業から求人をしていただきました。

今年度はコロナ禍前の状況に戻り、従来通り9月から始まった就職試験の内定率は約85%でした。不合格者は、随時見学をして入社試験を受け、2月にはほぼ全員の内定を得ることができました。公務員には3名の内定をいただきました。

在校生においては、現在の高校生就職状況を把握し、「ここで働きたい、努力していきます」という強い意欲を持った姿勢を示すことが肝要です。入社試験で課せられる学力試験や面接試験に備えて基礎学力の向上に努めることはもちろんのこと、部活動や資格取得に励み、自分の目標に向けて高校生活全般を見つめ直すことが求められています。

活躍する部活動

関東大会

ボクシング部

小林さん、全国選抜大会「紀さん」輝いた関東優勝！

1月19～22日、東京都日野市市民の森ふれあいホールで開催された関東高校ボクシング選抜大会に、男子ピン級で総1の1小林栄絢さん（鹿沼北中）、男子バンタム級で総2の1藤田啓人さん（足利二中）、文2の1倉島将也さん（大平南中）、男子ライト級で文2の2藤元武蔵さん（吹上中）、男子ライトウェルター級で文1の3渡邊宗純さん（田沼東中）、文2の



関東選抜に出場した(左から)藤元さん、倉島さん、小林さん、渡邊さん、藤田さん、紀さん

1紀堅志朗さん（佐野南中）の名が出場しました。

アジア大会

ボクシング部

鈴木さん、アジアユース選手権第3位！

10月21日～11月4日にカザフスタン（アスタナ）で開催されたアジアボクシング連合（ASBC）主



アジアユース選手権第3位の鈴木さん

結果は、小林さんが全国選抜大会を懸けたAブロックで見事優勝し、3月に開催される本大会への出場を決めました。また、紀さんはBブロックで見事優勝しました。応援ありがとうございました。

催のアジアユース選手権に女子52級級の日本代表として総3の3鈴木美結さん（宮代百間中）が出場しました。

昨年の世界ユース選手権に続き、2度目の国際大会となり、前回の第3位を上回る結果を狙っていきましたが、準決勝で敗退し第3位となりました。鈴木さんに勝利した選手が優勝しましたが、その相手を追い込むことができたのは自信につながったはずで、鈴木さんは、これからも日本代表として結果を残せるように頑張りますので、応援よろしくお願いします。

硬式野球部

第76回秋季関東地区高校野球大会

10月21～29日、栃木県総合運動公園野球場と宇都宮清原球場において秋季関東大会が行われました。



試合前に陣を組む選手たち

1回戦は中央学院高校（千葉県1位）との試合でした。追う展開の中、総2の5八角勇羽さん（北仙台中）の同点タイムリー、総2の2轟木昊明さん（北押原中）の代打タイムリーなどで食らいつきましたが、6回以降の8失点が響き、2-10で敗戦しました。

このチームで甲子園に挑戦できるチャンスは、夏の選手権大会の1回です。今大会での悔しさを常に忘れず、日頃ご理解・ご協力・ご声援をいただいている学校や生徒の皆さんに恩返しできるように取り組んでいきたいと思えます。応援ありがとうございました。

柔道部

柴田さんと水野さんが優勝

柔道部は10月21日、東京都の講道館で開催された関東大会に、7階級で12名の選手が出場しました。90級級では、総2の1柴田陽さん（平塚金目中）が、決勝戦で相

手の体を高々と持ち上げる豪快な裏投で一本勝ち。オール一本勝ちで優勝しました。



関東大会で入賞した(左から)黒田さん、水野さん、柴田さん、吉村さん

また、総1の5水野雅南人さん（足利一中）が、力強い技を軸にした攻めの柔道を貫き、強豪ひしめく100級級を1年生ながら見事に制しました。

100級超級では、総2の4黒田佑斗さん（足利一中）が惜しくも第3位入賞、73級級では文2の1吉村颯太さん（上青木中）が第5位入賞という結果でした。

陸上競技部

短距離 関東選抜新人陸上競技大会

10月21・22日、埼玉県の熊谷スポーツ文化



出場した選手たち

公園陸上競技場で開催された関東高等学校選抜新人陸上競技大会に、24名の選手が参加しました。選手

たちは懸命に競技に臨み、自己新記録をマークした選手もいましたが、惜しくも表彰台に上ることはできませんでした。この悔しさを糧に来シーズンに向けて今後の練習に励みます。

応援ありがとうございました。

◆長距離 関東高校駅伝男女出場
11月18日、千葉県総合スポーツセンター東総運動場陸上競技場折り返しコースにおいて、関東高校駅伝競走大会が行われました。

仲間への想いを糧に込めて、全員駅伝で戦いましたが、結果は男子チームが38位、女子チームが42位でした。応援ありがとうございました。



男子駅伝チーム



女子駅伝チーム

【出場メンバー】

- 男子チーム
- 1区文3の1 荻野 桂輔さん（三和中）
- 2区総2の4 篠田 将智さん（鹿沼北中）
- 3区総3の2 石川 拓輝さん（藤岡一中）
- 4区文2の2 森井 優人さん（大平南中）
- 5区総1の2 森田 敦也さん（小山三中）
- 6区総2の5 高坂 心乃さん（天谷中）
- 7区総2の2 市村 蓮さん（鹿沼田中）
- 女子チーム
- 1区文1の2 荒牧 美羽さん（旭中）
- 2区文1の1 永瀬 誉さん（清原中）
- 3区総1の5 諏訪 心花さん（小山三中）
- 4区総1の3 田沼 華さん（足利一中）
- 5区総3の3 廣瀬 莉緒さん（田沼東中）

軟式野球部

新人関東大会進優勝

秋の栃木県大会の結果、栃木県B代表として10月24日から埼玉県上尾市で開催された秋季関東大会に、7年ぶりに出場しました。

関東大会では強豪校がひしめく中、最後まで諦めない野球で、東京、埼玉、神奈川のチームを接戦で撃破し、決勝の舞台に立つことができました。決勝戦は同じ栃木県の作新学院高校との対戦となり、県大会決勝のリベンジを果たそうと試合に臨みました。



ホームインして喜びの2人の1周東 虹七さん(足利西中)

リードされる展開の中、終盤に2点を返しましたが、相手の堅い守備に阻まれ、2―5で敗退。13年ぶりの関東大会準優勝という結果でした。この結果に満足せず、「全国大会出場」という更上の目標を目指し、日々の練習を大切にに取り組んでいきます。

女子ソフトテニス部

第3位入賞

1月27・28日、神奈川県小田原市の小田原アリーナで、関東高校

選抜大会が開催されました。

1回戦で家政大学附属女子高校(東京都)に勝利した本校チームは、準々決勝戦で埼玉平成高校(埼玉県)と対戦しました。勝てば全国選抜大会出場が決まる一戦を3番勝負G4―3の大激戦で制しました。



第3位入賞の女子ソフトテニス部

大会4連覇を達成することはできませんでしたが、第3位入賞を果たし、9年連続20回目となる全国選抜大会の出場権を獲得することができました。

応援ありがとうございました。

女子バスケットボール部

新人関東2回戦敗退

女子バスケットボール部は2月

3・4日に埼玉県で行われた関東



関東大会に出場した女子バスケットボール部

高等学校新人大会に出場しました。1回戦は山梨県の富士学園高校に、80―72で勝利しま

した。2回戦は東京都の八雲高校と対戦し、前半26―38で終了。その後、ディフェンスからリズムを作り、文2の1星野琉奈さん(北

押原中)のジャンプシュートや、総2の1河津春香さん(一条中)のレイアップなどで応戦します。しかし、身長195cmの留学生に高さのミスマッチをつかれ、リバウンドやゴール下のシュートで点差を広げられ、60―87で試合終了。悔しい敗戦となりました。この大会での反省を生かし、更に精進していきます。

応援ありがとうございました。

女子サッカー部

5年連続6回目の出場

10月21日から茨城県の鹿島ハイッで開催された秋季関東大会に出場しました。5年連続6回目の出場となり、初戦は埼玉県代表の本庄第一高校と戦いました。



一進一退の攻防

試合は、どちらも主導権を譲らず、一進一退の攻防が続きました。サイド攻撃を得意とする本庄第一高校の攻撃を一瞬、止めることができず、失点してしまいました。何とか同点に追いつこうと攻

撃を続け、決定的な場面も作ることができましたが、相手の粘り強い守備に阻まれ、0―1で敗退しました。今回の悔しい思いを忘れずに、日々の練習を大切にに取り組んでいきます。

写真部

第30回関東地区高校写真展(出品)

1月26・28日、第30回関東地区高等学校写真展栃木大会が栃木県総合文化センターで開催されました。関東地区各都県の高等学校写

真専門部会から、それぞれ約20点ずつ推薦された作品が展示され、関東内外から訪れた多くの写真愛好家が熱心に鑑賞していました。写真家ハービー・山口氏による厳正なる審査の結果、本県代表の総1の4鶴貝菜那さん(佐野西中)の作品が奨励賞を受賞しました。



奨励賞を受賞した鶴貝さん

栃木県高等学校総合文化祭写真展開催

12月2・6日、栃木県総合文化センターにて第45回栃木県高等学校総合文化祭写真展が開催されました。県内30校が出品し、厳正なる審査の結果、総2の5の倉持日菜さん(総和北中)が課題の部で佳作、文1の1高並咲月さん(足利三中)がA4の部で奨励賞を受賞しました。また、総1の4の鶴貝菜那さん(佐野西中)は課題の部で準特選を受賞し、関東地区高校写真展栃木県推薦作品に選ばれました。学校対抗では強豪校がひしめく中、本校は57点を獲得、総合12位と健闘しました。

“本校生徒作品関東大会へ”

鶴貝菜那さんの作品「ゴールテープを切るキミと校長先生」▼



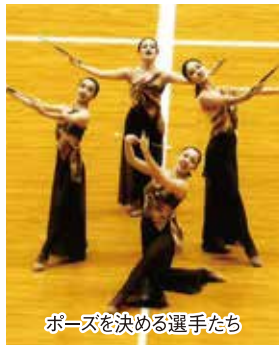
▲ 倉持日菜さんの作品「勝ったよ!」

◀ 高並咲月さんの作品「花と明かり」

過去最高の第6位

バトントワリング部

10月14日、第58回バトントワリング関東大会に出場し金賞を受賞しました。昨年は、創部以来初の全国大会出場につながる12位という結果でしたが、今年は第6位という過去最高の成績を収めました。



ポーズを決める選手たち

た。

今年の演技タイトルは私たちの「開拓」を力強い三味線の音色と美しい旋律のコントラストと共に、一杯表現しました。演技中、3回連続のバク転を披露した時は、会場に大きな歓声と拍手が湧きました。曲のイメージに合わせて保護者が手作りしてくれた衣装は、とても素敵で好評でした。こうして、たくさんの人に支えていただいていることを忘れずに、これからも頑張ります。

【出場メンバー】

総3の1 宇野木琉那さん（北押原中）
文2の2 石井 沙彩さん（足利二中）
総1の2 西村 妃莉さん（尾島中）
総1の5 松本 小羽さん（毛野中）

全国大会

ボクシング部

◆全日本選手権

鈴木さん、国内最高峰大会で準優勝！目指せオリンピック

11月21～26日、東京都墨田区総合体育館で開催された全日本ボクシング選手権大会に、女子フライ級で総3の3鈴木美結さん（宮代百間中）が出場しました。この大会は、社会人を含む大学生以上のシニアが出場する国内最高峰の大会で、鈴木さんは地方予選を突破し出場しました。



全日本選手権準優勝の鈴木さん

社会人や大学生を相手に勝ち進み、準優勝という結果を収めました。決勝戦はどちらが勝ってもおかしくない接戦で、3ラウンド目にあと一つ有効打があれば勝利を掴み取ることができたと思います。来年の全日本選手権大会では、必ずや優勝を成し遂げてくれるでしょう。鈴木さんは今後の大会でも活躍を続け、オリンピック出場を目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。

◆全国選抜

小林さん、第3位入賞！

3月25～29日、令和5年度第35回全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップボクシング競技大会が岡山県玉野市総合体育館において開催され、男子ピン級で総1の1小林栄絢さん（鹿沼北中）が出場しました。



全国選抜大会第3位の小林さん

小林さんは準決勝まで勝ち進みましたが、準決勝で惜しくも4対1のポイントで敗れ、第3位入賞という結果となりました。鹿児島特別国民体育大会では第2位という成績だったので、今回こそは優勝を目標にしていただけに本当に悔しい敗戦でした。小林さんは、これからも全国チャンピオンを目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。

◆全日本女子ジュニア選手権

早川さん、全国大会第3位に入賞し有終の美を飾る！

12月20～24日、三重県四日市市総合体育館で開催された全日本女子ジュニアボクシング選手権大会に、女子ピン級で総3の4早川瑠愛さん（山辺中）が出場しました。結果は、これまでのボクシング

の中で一番の動きを見せ、準決勝まで勝ち進みました。



全日本女子ジュニア選手権第3位の早川さん

早川さんは高校からボクシングを始めた選手ですが、全国大会優勝を目標に今まで練習を積んできました。高校最後の大会で全国チャンピオンに輝くことはできませんでしたが、強豪相手に勝ち進み第3位入賞という素晴らしい結果を残しました。応援ありがとうございました。

柔道部

中田さん準優勝、池内さん第3位

柔道部は3月19～20日に東京都九段下の日本武道館で行われた全国高等学校柔道選手権大会に出場しました。



第3位の池内さん(左)と準優勝の中田さん

個人戦では、5階級中4階級に本校の選手が出場し、81級級では総2の3中田涼太さん（足利一中）が、安定した試合運びで2年連続の決勝戦まで勝ち上がりましたが、一瞬の隙を突かれ、惜しくも準優勝。60級級では、総1の2

池内雷基さん（さいたま田島中）が1年生らしい、はつらつとした戦いぶりです。準決勝まで勝ち上がり、見事第3位に入賞しました。団体戦はベスト8で敗退し、3年連続の第5位に終わり、悲願の日本一には届きませんでした。応援ありがとうございました。

男子ソフトボール部

全国選抜大会出場

3月21～25日、全国高校男子ソフトボール大会が山口県宇部市において行われました。初戦の相手は強豪の宮崎県立日向工業高等学校でした。



円陣を組み士気を高める選手たち

進2の2前田一成さん（足利北中）の先発で始まった試合は、立ち上がり、相手の強力打線に失策なども重なり、6点を許してしまいました。4回表に1点返ししましたが、終わってみれば1対8の5回コールドゲームとなり実力差が浮き彫りになりました。この経験を生かし、今後も全国で戦えるチームを目指し練習に励んでいきたいと思えます。今後とも応援よろしく願います。

男子バレーボール部 全国私立大会に出場

男子バレーボール部は4年ぶりに全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会に出場し、予選リーグの初戦で春高バレー準優勝の福井県代表の福井工業大学附属福井高等学校と対戦しました。その後は、東京都代表の大森学園高等学校、福岡県代表の福岡大学附属大濠高等学校、岩手県代表の一関修紅高等学校と対戦しました。



開会式の様子

残念ながら勝つことはできませんでしたが、今大会で得た貴重な経験を今後に生かし、来年もう一度全国の壁に挑戦したいと思います。応援ありがとうございます。

陸上競技部 谷さん、やり投げ第4位入賞

10月20、22日、愛媛県松山市ニンジニアスタジアムにおいてU18陸上競技大会が開催されました。本校からは、U18女子やり投げに

総2の2谷飛香里さん(佐野西中)が出場し、第4位に入賞することができました。



第4位に入賞した谷さん

今シーズンは、ケガの影響で苦しい試合が続きましたが、最後の試合で結果を残すことができました。来年のインターハイでも表彰台に上がるように頑張りたいと思います。

女子ソフトテニス部 全国選抜大会ベスト16

3月28、30日、愛知県名古屋市の日本ガイシホールで、全日本高



全国選抜大会に出場した女子ソフトテニス部

等学校選抜ソフトテニス大会が開催されました。本校チームは初戦となる2回戦で高田商業高校(奈良県)に勝利しましたが、ベスト8をかけた岡崎城西高校(愛知県)戦で敗退しました。

応援ありがとうございます。

- 【出場メンバー】**
- 総2の2 高垣 虹花さん(鷺宮東中)
 - 総2の3 富山 鈴香さん(杉戸広島中)
 - 総2の3 真船 姫来さん(西郷一中)
 - 総1の2 西牧 結愛さん(杉戸広島中)
 - 総2の2 大野 結花さん(黒磯中)
 - 総2の5 上武 凜華さん(国分寺中)
 - 総1の2 一ツ木彩衣さん(古河一中)
 - 総2の5 金子りんねさん(黒磯中)

軽音楽部 新たな一歩

8月13日全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル夏の陣に本校の3年生のバンドSoy Beansが出演しました。日頃の練習の成果が実を結び、軽音楽部史上初の第6位を受賞しました。

- Soy Beans**
- 総3の5 大島日菜多さん(大平中)
 - 総3の2 高松 由衣さん(足利西中)
 - 総3の3 田村 みほさん(藤岡一中)
 - 文3の2 齋藤 来姫さん(国分寺中)
 - 文3の3 山保 蓮さん(三和東中)
 - 総3の5 廣瀬 綾花さん(下館西中)

また、12月28日には、全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル冬の陣に1・2年生の5バンドが出場しました。その中のSne Euvというバンドのメンバーである文1の3石川朋花さん(板倉中)が、

ベストプレイヤー賞キーボード部門第2位を受賞しました。こちらも軽音楽部史上初の受賞となりました。今後も、演奏できることに感謝し、練習に励んでいきたいと思っています。

2023 ジャパンカップ バントワリング部

8月25日に武蔵野の森総合スポーツプラザで開催された2023 Japan Cupで第6位の成績を収めました。この結果により、12月10日に東京体育館で開催された2023 Japan Cup 日本選手権へ

出場し、第3位という輝かしい結果を残すことができました。3年生にとっては、この大会が高校生活での最後の大会で、「FRONTIER」の踊り納めでもありましたが、これまで4人で力を合わせて地道に努力してきた集大成となりました。

12月9日、幕張メッセで開催された第51回バントワリング全国大会に出場しました。昨年に続き、連続出場となりました。

全国大会で銀賞獲得!

部員数が出場規定の4名ギリギリのため、当日まで体調不良にならないように気を遣いましたが、なんとが無事に当日を迎えることができました。生徒たちは、この舞台で最高の演技ができるように想いを込めて踊りました。ノードロップの目標は達成できませんでしたでしたが、良い表情で気持ちよく踊れました。成績は銀賞でしたが、関東のチームの中では昨年の6位から4位にステップアップすることができました。これからも、全国の舞台で演技ができるように頑張ります。



全国大会に出場したバントワリング部

- ジャパンカップ・全国大会**
- 【出場メンバー】**
- 総3の1 宇野木琉那さん(北押原中)
 - 文2の2 石井 沙彩さん(足利二中)
 - 総1の2 西村 妃莉さん(尾島中)
 - 総1の5 松本 小羽さん(毛野中)

美術部
文部科学大臣賞受賞

総1の1風間瑞さん（山辺中）が、環境教育ポスターコンクールにて文部科学大臣賞を受賞し、11月19日、東京都元赤坂の明治記念館にて表彰式が行われました。環境副大臣や各大学の学長など多くの出席者がいる緊張感の中、風間



▶受賞した作品
「バランスの限界 手を止めて見直して」

第78回特別国民体育大会

2020年に開催される予定だった第75回国民体育大会「燃ゆる感動がごしま国体」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、2023年10月7～17日にかけて第78回特別国民体育大会として開催されました。鹿児島県内各地で熱戦が繰り広げられ、本校生徒も栃木県の代表として出場しました。出場競技及び出場生徒は以下の通りです。

- 〈水泳 少年男子 第8位〉
文3の1 瀧澤 悠太さん（国分寺中）
4×1000メートルリレー
- 〈ボクシング 少年男子ピン級 第2位〉
総1の1 小林 栄純さん（鹿沼北中）
- 〈陸上競技 少年女子〉
総3の4 二宮 音彩さん（栃木西中）
少年女子A1000リレー 出場
成年少年女子共通4×1000リレー 出場
- 総2の2 谷 飛香里さん（佐野西中）
少年女子Aやり投げ 第13位
- 〈柔道 少年男子 ベスト16〉
総2の4 黒田 佑斗さん（定利一中）
大将無差別級
- 総1の2 池内 雷基さん（田島中）
先鋒60話級



制作意図をスピーチする風間さん

さんは、制作意図について「人間によって崩されていく生態系のバランスを、ジェンガを抜くという行為で表現しました。人間の手が抜き取っているジェンガの柄は、密猟が問題になっている動物、破壊されていく森林、汚されていく海を描いています。自然を破壊する手を止めてほしいという願いから制作しました」とスピーチしました。

真意を新たな発想で再形成する作品制作に今後も挑んでいきます。

富田キャンパストピックス

体育祭 富田での最後の体育祭

10月19日、秋晴れのもと、富田校舎体育祭が行われました。コロナ禍が明けて初めての体育祭、そして富田校舎で行われる最後の体育祭ということもあり、生徒会役員たちは思い出に残る体育祭になりました。今年度は、各クラスで作製したクラスTシャツを着ての入場行進からスタートし、長縄跳び、綱引き、障害物競走、借り物競走、山勘レース、高校生クイズ、団体リレー、クラスリレーの8種目と女子のダンスが行われました。結果は、1、2年生が大健闘する結果となりました。たくさんのお客様や保護者の方たちにも観覧していただき、非常に充実した体育祭になりました。



長縄跳びの様子



クラスリレーの様子

沖縄・石垣修学旅行

10月29日から4泊5日の行程で2年生の修学旅行が実施されました。全行程、天候に恵まれ南国の青い空と青い海を堪能することができました。



竹富島の浜辺で

今回の修学旅行では、生徒たちと同じ年代の若者が演じる平和劇を初めて鑑賞しました。戦時中の沖縄の現状、護婦として戦争に参加させられた女子学生たちの気持ち、自分たちのように感じられる内容でした。ひめゆり資料館や平和祈念公園での平和学習では、平和劇の内



三線に合わせてユイユイを合唱

違った、のんびりとした島の雰囲気と豊かな自然の中で過ごしたことは素晴らしい体験でした。特に、ホテルでの星空観賞会は印象的でした。ガイドさんの説明のもとで星座や天の川を眺め、自分の小ささを感じました。コロナ禍で中学校での修学旅行が縮小・中止となっていた生徒も多く、今回の修学旅行は、本当に高校時代の大切な思い出となりました。

容と重なって、戦争の悲惨さが胸に迫りました。また、美ら海水族館の見学や国際通り散策、ホテルでの「三線・エイサー鑑賞」では、仲のいい友人と「沖縄らしさ」を満喫。沖縄料理を食べて沖縄の方と触れあうことで沖縄の文化を体験しました。そして、旅の後半は石垣島に渡り、石垣島観光やカヌー体験、西表・由布島・竹富島の3島巡りなど選択コースに分かれて楽しい時間を過ごしました。沖縄本島とは

第29回合唱祭

「有終の美を飾る」

11月17日、富田キャンパスのシールホールにて、1年生の合唱祭が開催されました。令和6年度からは、新校舎が完成し、富田キャンパスの機能が本校舎と一体化されるため、富田キャンパスで実施する最後の合唱祭となりました。今年度は、コロナ等の影響も薄れ、様々な行事が従来通りに実施されたため、かえって合唱祭に向けての練習時間が確保できませんでした。



合唱祭の様子

でした。どのクラスも早朝や放課後の練習に加えて、隙間時間を利用しながらの準備となっていました。本番では、想像以上の合唱を披露することができました。

特別進学コース1年1組が最優秀賞を、進学コース1年1組が優秀賞を見事に獲得しました。

語学研修

「フリティッシュヒルズ」

3月22日から2泊3日の日程で、1年生の希望者が、福島県にある英語研修施設、フリティッシュヒルズで語学研修を行いました。初日は、施設内で日本語を使えないため皆が緊張気味でした。2日目になると、天候こそ雪が降り、春とは思えない悪天候となつてし

という先生の言葉に生徒たちも感じるところがあつたようです。

生徒たちの質問にも、質問者の隣に立つてざっくばらんに答えてくださいました。栗山先生の気さくでエネルギーシユな人柄を生で感じられる貴重な時間を過ごすことができました。

記念式典

3月18日、富田校舎閉校及び創立40周年記念式典がシールホールにて行われました。上岡理事長先生をはじめ富田校舎に縁のある来賓の方々と、長年本校を支えてこられた旧職員の先生方をお招きしての式典は、厳粛でありながら温かな雰囲気の中で執り行われました。

富田校舎40年の沿革に加えて、



スコーン作りの様子

まいりましたが、英語でのコミュニケーションにも慣れ、楽しそうにレッスンに取り組み姿が見られました。特に英語でレクチャーを受けな



挨拶をされる上岡理事長先生

卒業生からのビデオメッセージ、卒業生の映画製作グループ「Boys ART work」による映画「Blue Spring」の上映、ピアノの田中あかねさんのピアノ演奏など、盛りだくさんの内容で思い出に残る式典になりました。来年度からは、新校舎で富田校舎の歴史が引き継がれていきますが、夢を叶えて世界で活躍されている先輩方のメッセージに、新たな環境で頑張ろうという思いを強くしました。

がスコーンを作るレッスンでは、積極的に英語で質問をする生徒も多く、実践的な英語に触れる良い機会となり、たった3日間ではありましたが、貴重な経験をすることができました。

エコノミクス甲子園

2月25日、東京都・渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにて第18回エコノミクス甲子園全国大会が開催され、本校からは特1の1阿部庄汰さん（藤岡中）、特1の1松本脩佑さん（総和中）による「白鷗足利」チームが参加しました。予選から大学生レベルの課題が課され、全国の超進学校と呼ばれる高校のチームが苦戦する中、本校は第一ラウンドで満点を取り、上位入賞も期待されましたが、第二ラウンドで敗退。その後、40チームによる敗者復活戦では2位となり、惜しくも決勝戦進出を逃しました。この悔しさを目をバネに、来年度のリベンジを目指したいと思えます。



エコノミクス甲子園に出場した阿部さん(左)と松本さん

富田校舎移転にともなう関連行事

令和6年度から、本校舎と富田校舎が統合し、次世代教育を担う設備を備えた新校舎での教育活動が始まります。そのため富田校舎は40年の歴史に幕を閉じ、その機能を新校舎に移します。その記念行事として、第5回WBC日本代表監督栗山英樹先生の講演会、卒業生に向けた学校公開、そして記念式典を行いました。

記念講演会

11月15日、第5回WBC日本代表監督栗山英樹先生をお迎えし、「『諦めない力』〜夢をかなえるために」と題した特別講演会が実施されました。

栗山先生は、ご自身の監督経験



生徒に問いかける栗山先生

やWBCでの裏話を交えて、進路選択など悩みを抱えた生徒たちに、「なりたい自分」をイメージし、その実現のために自分を信じてやり抜くことの大切さを語ってくれました。「『今できるかできないか』ではなく『やるかやらないか』が大切。自分を信じてやり抜くことが自分の成長につながる」

本校舎トピックス

体育祭

10月18日、足利市陸上競技場（足利ガスグラウンド）において体育祭が行われました

大縄跳びの回数を競う「みんなでジャンプ」では、総合3年5組が高速ジャンプ作戦で178回飛び、大変盛り上がりしました。

そして、力勝負の大綱引きでは、3学年優勝の総合3年3組が、職員チームの体格差に圧倒され、敗



体育祭リレー

れる波乱もありました。部活動対抗レースのガチンコリレーでは、どの部活動も強者揃い

でハイレベルな戦いになりました。そんな中、陸上競技部が名誉にかけて、先頭を死守しました。



体育祭男子ダンス

そして、今年のダンスは男子がマジック、女子がハイスクールミュージカルという曲で踊りました。どちらのダンスも練習の成果を出し切ることができ、会場から大きな歓声がありました。

体育祭一番の目玉種目であるクラス対抗リレーは、男女混合でバトンをつなぎました。全学年のトップで総合2年5組がゴールし、対抗点でも総合優勝に輝きました。担任の西山先生は、春先から優勝を目標にしていって、見事に有言実行となりました。

1学年・探究活動

〜オリエンタルランド施設見学〜

3月6日、本校舎1年生は探究活動の一環としてオリエンタルランドの施設を訪問しました。

今年度、1年生は、SDGsをテーマに探究活動を行ってきました。17のテーマの中から興味のあるテーマを選んだ後、グループごとに、そのテーマを実現するためにはどうしたら良いかを探究してきました。

そこで、企業のSDGsへの取り組みについても理解を深めたいと考え、オリエンタルランドが企



エイサー体験

2学年 沖縄修学旅行

本校舎2年生は総合進学コースが3月4〜7日、文理進学コースが3月5〜8日の日程で、修学旅行を実施しました。

1日目は、首里城を見学し琉球王国の歴史を学びました。2日目は、午前中にひめゆりの塔と平和祈念公園の南部戦跡をめぐる平和学習を行い、戦争の悲惨さや平和の大切さを学びました。午後からは、国際通りや北谷のアメリカンビレッジで、戦後復興した沖縄の観光産業や文化を学びながら、それぞれが買い物や食事を楽しみました。3日目は、午前中に沖縄の自然を学ぶマリントラックと、海岸散策を行いました。午後は、美ら海水族館で、世界最大級の大水槽でマンタやジンベイザメなどたくさんの生き物を見ることができました。4日目は、沖縄県立博物館で



探究発表会の様子

まえて、グループごとに探究活動をパワーポイントにまとめました。探究してきたことをまとめる難しさや、分かりやすく伝えることに苦労しながらも、各班とも動画や写真を使い工夫して作成しました。

探究発表会は、3月15日に行いました。発表は、クラスのTVにパワーポイントを映して行いました。各グループとも、探究の内容について、わかりやすい発表を行っていました。

当日は、多くの先生方に見学に来ていただき、実りある発表会になりました。



サーターアンダギーを作る体験学習

沖縄の歴史や文化を学ぶことができました。この3泊4日の修学旅行で、様々な学びを得たり、友人たちとの親交を深めたりする等、充実した時間を過ごすことができました。

白鷗大学だより

PLUS ULTRA—さらに向こうへ。

★バスケットボール部が男女同時優勝★

本学男女バスケットボール部が、12月に行われた第75回全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）において同時優勝を成し遂げました。

先に優勝を決めた女子チームは、10日に国立代々木競技場第二体育館で行われた決勝戦で、東京医療保健大学と対戦。第3ピリオドで一時同点に追いつかれながらも逃げ切り、79―69で勝利し7年ぶりの王座奪還を果たしました。

男子の決勝戦は翌週の17日、群馬県太田市総合体育館（オーブンハウスアリーナ太田）で行われました。3年連続の頂上対決となった東海大学戦では、終盤になって劣勢をはね返し71―68と3点差で勝利。チーム一丸となった白鷗ら



来賓を含め約120名が参加した優勝祝賀会

しい粘り強い戦いで、2年ぶり2度目の王座に返り咲きました。

史上3校目の男女同時優勝を祝し、2月に品川プリンスホテルで優勝祝賀会を開催し、男女同時優勝の喜びを分かち合いました。会の締めくくりでは男子・網野

「め組白鷗」が優秀賞

◆第7回輝くとちぎづくり表彰◆

防災研究同好会が「第7回輝くとちぎづくり表彰」で、「『ヒト』と『モノ』が災害支援に繋がるネットワークづくり」として優秀賞を受賞しました。

防災研究同好会「め組白鷗」は、2019年に設立された組織です。市民活動、ボランティア活動、地域づくりなどに主体的に取り組んでいる団体や個人を支援する、小山市市民活動センター（おやま）の登録団体の一つでもあり、地域の防災知識の向上と普及を目的として活動を行っています。

11月には福島県内の被災地をバスで巡る「防災スタディツアー」を企画し、実際に「行って」「見て」防災について学ぶ機会を実現させました。

代表の法学部4年大塚小夏さん

監督が「1年前、現体制のスタート時点では不安もあったが、インカレでの一体感を見て『本当にいいチームになった』と感じた」と選手たちの成長を称賛し、女子・佐藤監督は「来シーズンはより厳しい戦いになるが、今までと変わることなくコツコツと積み上げて良いバスケットボールを見せたい」と決意を語りました。

「日本は諸外国に比べて災害が多いにもかかわらず、日常的に備えている人は少ない。いざというときのために身を守る方法の一つでも多く、一人でも多くの人に知ってほしい」と思いを語りました。



優秀賞を受賞した「め組白鷗」メンバー

法学部の畑中ゼミが労働ハンドブックを作成

〈620人の学生からアルバイトに関する調査〉

労働法を研究する法学部の畑中祥子ゼミナールIが、「学生アルバイトのための悩み解決BOOK」を作成しました。62

0人の学生からアルバイトの悩みや不満、疑問などを調査し作られた同書は「求人・採用・退職・解雇」「賃金」「労働時間」「差別・ハラスメント」「労働災害」



学生たちが作成した冊子の表紙

の5項目から構成され、各項目とも基本的な法律知識を明示、アンケートで寄せられた悩みをQ&A形式で示しています。また、それぞれに担当したゼミ生が学生の視点でコラムを執筆。さらに、「年収103万円の壁」に関する記事や労働相談窓口も掲載されています。

畑中准教授は、「ゼミの中でもアルバイトにおける法的問題について議論を続けてきた。その経験を生かし、同じ学生の立場で、アルバイトで様々な悩みを抱えている学生たちに役立つ法的知識をまとめた冊子を作成した」とゼミの活動を振り返りました。

ゼミ長の法学部3年菅野純さんは「労働法の知恵を広く発信できないか」と思考し、学生の皆様にとって馴染みのあるアルバイトと結び付けて作った。これをきっかけに労働法という学問への興味、あるいは働くことへの関心を持つきっかけになれば」と語りました。

PTAだより

活気を感じた1年

PTA会長 石井 薫



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、卒業されるPTA会員の皆様におかれましては、感慨深い思いでこの時を迎えられたことと思います。

ここ数年のPTA活動は新型コロナウイルスの影響により、様々な活動が中止もしくは縮小となりました。しかし、新型コロナウイルスの感染法上の

分類が第5類に移行したことで、新たな日常を取り戻し、活気を取り戻したことを実感できる年明けとなったことを嬉しく思います。

本校PTAにおいても、5月にはPTA総会を開催することができ、大勢の会員の皆様が出席され、学校への関心、お子様の教育への関心の高さを表す活動の一つとなったと思います。

また、PTA活動の中で、最も大きな活動として、支部懇談会の開催も4年ぶりに再開いたしました。どの支部も引き継ぎがままな

らない中、支部長さんをはじめ支部役員の皆さんが中心となって、一からの設営そして運営にご尽力いただき、会員の皆様に高い評価をいただくことができました。

その後も、OB会による研修旅行や、子どもたちの元気溢れる体育祭の開催など、活気を感じる1年となりました。

最後に、今後とも会員の皆様のPTA活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

1学年 白鷗大学見学

〜 充実の大学見学 〜

2月27日、本校舎の1学年は系列校である白鷗大学の見学に参加しました。生徒は、自身が体験す



体験講座の様子

る模擬授業に合わせて、本キャンパス、大行寺キャンパスに集合し、大学全体の説明を受けてから体験講座を受講しました。生徒たちは、先生方の講義を興味深く、かつ真剣に聞いていました。

最後はキャンパスツアーです。学生リーダーの親切で丁寧な案内で、両キャンパスを一通り見学することができました。大学見学を通して、「白鷗大学に進学したい」という感想を抱いた生徒も多くいたようです。

編集後記

今回の本誌にも運動部、文化部問わず多くの部活動活躍の記事が掲載されました。練習やトレーニングで試行錯誤を経て、成果を挙げられた時や、自己記録を更新した時の喜びや思いは、数字や言葉では簡単に言い表せないものがあります。一方で悔しい思いをしてきている人も多くいると思います。

しかし、高校生の皆さんにとって重要なのは、結果よりも過程です。部活動に限らず、学習やボランティア活動、探究活動など何かに向かう過程で得られたものは目に見えないものが多いですが、結果や数字以上に皆さんを支える力になるはずです。

新生徒会役員誕生

11月7日の認証式をもって、新生徒会が発足しました。新生徒会は本校舎19名、富田校舎11名の計30名です。昨年からの経験者は13名です。今回の生徒会メンバーは、新制服採用に向けて制服工場見学に足を運ぶ等、昨年に引き続き積極的に活動しています。学校行事では、新生徒会を中心に実施した予餞会を滞りなく進行させ、3年生を見送ることができました。



本校舎生徒会役員

- 会長 文2の3 岡村 泰知 (協和中)
- 副会長 総2の1 長谷川夕達 (佐野北中)
- 書記 文1の2 重松 舞 (田沼東中)
- 書記 文2の3 落合 千尋 (乙女中)
- 書記 文2の4 柿沼 郁帆 (佐野南中)
- 書記 文1の1 世羅 大晴 (白鷗定和中)
- 書記 文2の1 上野 桜菜 (小山二中)
- 書記 文2の1 松井 匠 (赤見中)
- 書記 文2の2 妹尾 柊里 (大平中)
- 書記 文2の2 川田 麻耶 (佐野西中)
- 書記 文2の2 松村 龍樹 (協和中)
- 書記 文2の5 倉持 日菜 (総利北中)
- 書記 文1の2 谷口瑞生 (足利北中)
- 書記 文1の2 木村 樹希 (愛の学園)
- 書記 文1の2 フルラマツキ (小山城南中)
- 書記 文1の3 細谷 慧美 (多々良中)
- 書記 文1の3 増田 彩夏 (佐野城東中)



富田校舎生徒会役員

- 副会長 特2の1 荒井 茜音 (館林四中)
- 議長 特1の1 森田 樹里 (古河一中)
- 議長 特1の1 安野 瑠菜 (館林中)
- 書記 特2の1 小林 首璃 (白鷗定和中)
- 書記 特1の1 羽生 菜太 (結城中)
- 書記 特2の1 本島 愛望 (館林四中)
- 書記 進2の2 飯塚 巴菜 (多々良中)
- 書記 特1の1 小寺 優花 (大田東中)
- 書記 特1の1 結城 美琴 (小山一)
- 書記 進1の1 久保田莉奈 (足利西中)
- 書記 進1の1 小林 紗碧 (白鷗定和中)

※お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-4110890
発行日・令和6年3月31日